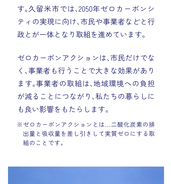
エココは2017年の創刊以来、各ご家庭へ環境に関する情報をお届けしてきました。この度、より見やすく、関連情報へアクセスしやすいウェブ情報誌としてリニューアルしました。

紙媒体での配布はありませんが、印刷用データもご利用いただけます。今後も、暮らしに役立つ環境情報を発信してまいります。

特集



私たちの暮らしにつながる

事業者のゼロカーボンアクション※

集中豪雨や猛暑など、気候変動による影響は、私たちの身近なところにも表れています。久留米市では、2050年ゼロカーボンシティの実現に向け、市民や事業者などと行政とが一体となり取組を進めています。

ゼロカーボンアクションは、市民だけでなく、事業者も行うことで大きな効果があります。事業者の取組は、地域環境への負担が減ることにつながり、私たちの暮らしにも良い影響をもたらします。

※ゼロカーボンアクションとは…二酸化炭素の排出量と吸収量を差し引きして実質ゼロにする取組のことです。

事業者の取組は、私たちの暮らしにもつながっています

例えば、営業車や配送車に電気自動車や燃料電池車を導入することで、排気ガスが減り、空気がきれいになったり、騒音の少ないまちづくりにつながります。

また、事業所や工場への太陽光発電設備の導入や省エネ機器への切替等による経営コスト削減は、私たちが購入する製品やサービスの価格の安定にもつながっています。

事業者の取組が広がることで、私たちの暮らしはより快適で豊かなものになっていきます。市民も事業者も、それぞれができる脱炭素の取組をすすめていきましょう。

市民のゼロカーボンアクションはこちら

ecoco vol.12

事業者の部門別 CO_2 削減目標※

生産・製造の場である工場などの産業部門

562千t-CO_2削減

CO_2削減率39%

オフィス・商業・サービス施設などの民生業務部門

155千t-CO_2削減

CO_2削減率71%

自動車・鉄道・航空・船舶などの運輸部門

350千t-CO_2削減

CO_2削減率39%

※CO_2削減の目標年度は、全て2030年度（2013年度比）です。

※「t-CO_2」は、二酸化炭素（CO_2）排出量を表す単位で、温室効果ガスの排出量をCO₂に換算したものです。t-CO_2は1トンのCO₂に相当する排出量を意味します。CO₂1トンの体積は、25㎥（アール）林分に相当します。

事業所でできる取組

01

OA機器の省エネ機能の活用

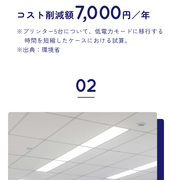
パソコンやプリンター、複合機などの省エネ機能を活用したり、長時間席を離れるときは電源を切ったりしましょう。

CO_2削減率26%

コスト削減額7,000円／年

※プリンター5台について、低電力モードに移行する時間を短縮したケースにおける試算。
※出典：環境省

02



LED照明などの導入

高効率な省エネルギー機器（LED照明、空調機器、OA機器等）の導入により、エネルギー消費量を大幅に削減することができます。

CO_2削減率69%

コスト削減額101万円／年

※年間2,500時間点灯する従来型の蛍光灯（FL40S×2灯）300台をLED照明に更新したケースにおける試算。
※出典：環境省

03

太陽光発電設備の導入

自然エネルギーである太陽光を利用することで、化石燃料の消費量を減らし、CO_2排出量の削減につながります。また、発電した電気を自家消費することで電気購入量を減らし、電気代を削減できるため、電力価格高騰のリスクも軽減されます。

CO_2削減率 13%

コスト削減額 290万円／年

※年間電力消費量100万kWhの事業所に100kWの太陽光発電設備を導入し、発電した電気を全量自家消費した場合の試算。

※出典：環境省

［ 導入支援情報 ］

【福岡県】太陽光発電設備等共同購入事業

導入希望者をとりまとめることによるスケールメリットにより価格を低減します。

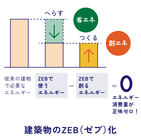
詳細はこちら

【福岡県】中小企業脱炭素化緊急支援事業

太陽光発電・省エネ設備・蓄電池の導入を支援します。

詳細は福岡県担当課まで。
092-643-3356

04



建築物のZEB（ゼブ）化

事務所等を新築または改築するときは、「Net Zero Energy Building（ZEB）」を目指しましょう。ZEBとは、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことです。

建物全体のエネルギー消費量 50%程度削減

［ ZEB化相談支援情報 ］

詳細はこちら

05

電気自動車等の導入

走行時にCO2を排出する従来型ガソリン車から電気自動車や燃料電池自動車へ置き換えましょう。

610 kg-CO_2/台 削減（年）

コスト削減額 75,152円／年

※ガソリン車の代わりに電気自動車等を利用した場合

※出典：全国地球温暖化防止活動推進センター

［ 補助金情報 ］

次世代自動車振興センター

詳細はこちら

06

省エネ診断等の受診

「省エネ診断」などを活用することで、自社の効率良くCO2排出量を知ることができます。脱炭素経営のはじめの一歩を踏み出しましょう。

［ 受診支援情報 ］

省エネ診断

詳細はこちら

エコアクション21認証・登録制度

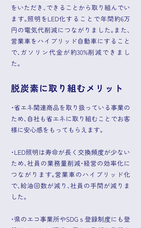
詳細はこちら

【福岡県】脱炭素経営はじめの一歩。応援プログラム

温室効果ガス排出量の「算定」「削減目標設定」「計画策定」を支援します。

詳細はこちら

脱炭素に取り組んでいる事業者の紹介



「脱炭素で、社内だけでなく、お客様にも安心感をもってもらえています」

エコムシステムズ株式会社
（小荒巻、従業員数11名）

事業所のエネルギー使用の無駄を省きたいと考え、「省エネ診断」を受けました。空調や照明設備などに関するアドバイスをいただき、できることから取り組んでいます。照明をLEDにすることで年間約70万円の電気代削減につながりましたほか、営業車をハイブリッド自動車にすることで、ガソリン代金が約30%削減できました。

脱炭素に取り組むメリット

・省エネ関連商品を取り扱っている事業のため、自社も省エネに取り組むことでお客様に安心感をもってもらえます。

・LED照明は寿命が長く交換頻度が少ないため、社員の業務量削減・経営の効率化につながります。営業車のハイブリッド化で、給油回数が減り、社員の手間が減ります。

・県のエコ事業所やSDGs登録制度にも登録しています。環境に優しい取組や登録を行うことで、対外的な信頼度の向上につながっていると思います。

NEXT
トピックス！くらしと環境・施設案内
こちらから読めます → ecoco vol.14-2

※写真はイメージです。

編集・発行　久留米市環境部
〒830-0042 久留米市百年町 375 番地
TEL 0942-30-9742　FAX 0942-30-9715